

シンポジウム | シンポジウム | [シンポジウム6] 認知症シンポジウム：認知症の人の歯科治療：地域特性に合った連携とは

## シンポジウム6

### 認知症シンポジウム：認知症の人の歯科治療：地域特性に合った連携とは

座長：枝広 あや子（東京都健康長寿医療センター研究所 研究員）、高田 靖（東京都豊島区歯科医師会 副会長）  
2022年6月11日(土) 10:50 ～ 12:20 第2会場（リ्यूとぴあ 5F 能楽堂）

＊専門医申請者研修

#### 【シンポジウム趣旨】

認知症施策推進大綱においても歯科における認知症対応力向上を進めている一方で、未だ実際の地域連携が進んでいないといえません。“認知症の人の歯科治療”を、診療報酬を算定できるプレパレーションに留まるものではなく、“歯科医師・歯科衛生士が関わるすべての取り組み”をとらえるならば、“認知症の人の口腔の諸問題に関する地域での連携”を推進するために私たちには何ができるのでしょうか。本シンポジウムにおいては、認知症の人の生活支援をするために、口腔の健康と食を通じて、クリニックの枠を越えて様々な社会資源と連携しながら歯科医師・歯科衛生士ができる取り組みについて、地域特性も踏まえながら、これからの可能性について議論したいと思います。

#### 【このシンポジウムに参加すると】

- 認知症の人の生活を取りまく地域の医療介護保険福祉の連携のあり方について理解が深まる。
- 認知症の人の生活を支える在宅診療、社会的処方考え方について理解が深まる。
- 地域特性に応じた、口腔の健康と食を通じた認知症の人の生活支援への歯科の取り組みが理解できる。
- 医療介護関係者の口腔の健康に対する知識関心のゆるやかな醸成につながる。

#### 【枝広 あや子先生 略歴】

平成15年 北海道大学歯学部卒業

平成15年 東京都老人医療センター 歯科・口腔外科 臨床研修医

平成17年 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 入局

平成20年 東京都健康長寿医療センター研究所 協力研究員

平成23年 学位取得、博士（歯学）東京歯科大学

平成24年 東京都豊島区歯科医師会 東京都豊島区口腔保健センター

あぜりあ歯科診療所勤務

東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤研究員

東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 非常勤講師

平成27年 東京都健康長寿医療センター研究所 研究員

現在に至る

#### （所属学会）

日本老年歯科医学会 認定医 摂食機能療法専門歯科医師

日本咀嚼学会 健康咀嚼指導士

日本口腔外科学会

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士

日本静脈経腸栄養学会所属 TNT研修終了

認知症の人の食支援研究会

日本老年医学会 TNT-Geri修了 高齢者医療研修会修了 高齢者栄養療法認定医

日本認知症学会

日本認知症ケア学会

日本歯科衛生学会

日本老年精神医学会

日本在宅栄養学会

専門は 老年歯科医学、口腔外科学など

(近著)

「Clinical Nursing Skillsひとりだちできる口腔ケア 現場で役立つ！知っておきたいQ&A 基本知識，器具・薬液，症状・状態・疾患別の口腔ケア，在宅のケアと評価・アセスメント」（共著）株式会社学研メディカル秀潤社2021年9月

「東京都認知症地域支援推進事業 認知症とともに暮らせる社会に向けて地域づくりの手引き2020年度改定版」．（共著）東京都健康長寿医療センター2021年3月

「キーワードでわかる臨床栄養 令和版 栄養で治す！基礎から実践まで」（共著）株式会社羊土社2020年4月

「歯科医院で認知症の患者さんに対応するための本」医歯薬出版2019年8月

「健康長寿のための口腔保健と栄養をむすぶエビデンスブック」（共著）医歯薬出版2019年8月

「認知症の人の歯科治療ガイドライン」（共著）医歯薬出版2019年6月

### 【高田 靖先生 略歴】

(現職及び役職)

公社) 東京都豊島区歯科医師会 副会長

公社) 東京都歯科医師会 成人保健医療常任委員会 委員長

地域保健医療常任委員会 委員長

豊島区介護保険事業推進協議会 委員

介護認定審査会 副会長

豊島区認知症対策推進会議 委員

豊島区在宅医療連携推進会議 委員

(経歴)

平成2年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業

平成2年4月 東京医科歯科大学第3保存科入局

平成4年3月 東京医科歯科大学第3保存科退局

平成5年4月 高田歯科医院開設

平成9年4月～平成11年3月 社) 豊島区歯科医師会・総務理事

平成15年4月～平成17年3月 社) 豊島区歯科医師会・会計理事

平成17年4月～平成22年6月 社) 豊島区歯科医師会・専務理事

平成22年7月～平成24年6月 公社) 東京都豊島区歯科医師会・専務理事

平成26年6月～平成30年6月 公社) 東京都豊島区歯科医師会・専務理事

平成30年6月～ 公社) 東京都豊島区歯科医師会・副会長

---

## [SY6-2]社会資源が多くない地域の連携

○澤田 弘一 (鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所)

【略歴】

1992年 岡山大学歯学部歯学科 卒業

1992年 岡山大学歯学部附属病院医員 (第二保存科) 入局

1996年 岡山大学歯学部附属病院 文部教官助手 (第二保存科)

1998年 上齋原村国民健康保険歯科診療所 所長

1999年 上齋原村国民健康保険歯科保健センター センター長 (兼務)

2004年 鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所

2016年 鏡野町国民健康保険奥津歯科診療所 所長 （兼務）現在に至る

### 【抄録】

認知症の人を支える医療・介護・保健・福祉に関するインフラ・地域特性：

当地域は、人口12,604人（2021年）、高齢化率36.60%（2015年）の山間僻地である。平成17年3月1日に富村、奥津町、上齋原村および鏡野町が対等合併して、現在の鏡野町が発足した。各旧自治体に、行政機関、医療および介護施設が設置されており、各診療所の医師は鏡野国民健康保険病院から、各歯科診療所の歯科医師は、岡山大学病院からそれぞれ派遣されている。

認知症初期集中支援チームの成り立ち、および医療・介護関係者との多職種連携の方法：

2000年（平成12年）：介護保険制度が始まり、当地域で歯科医師として赴任していたが、ケアマネージャーが私だけであったため、ケアマネージャーとしても2年間実働を行い、他の職員がケアマネージャーの資格を得たので、現在は引き継いでいる。その時から、認知症と口腔に関する問題意識は強くもち、介護保険計画にも加えていた。

2008年（平成20年）：当地域で特に「家族によって隠されている問題」についての調査を行った。その調査の1位が口腔に関することであった。ちなみに、2位は認知症、3位は自殺であった。

当地域は、3世代～4世代で暮らしている世帯が多く、故意でなくても、上記の健康課題が家族によって隠されてしまうと、保健師などの行政サービスが家の中の問題まで深く入り込めない事情があったため、この調査を行った。逆に、独居または高齢者のみの世帯の場合に対しては、直接に、行政・医療・介護機関が訪問・相談・介入・医療介護連携ができています。

2009年（平成21年）～2010年（平成22年）：私的に「地域包括医療ケア講座」を発足させた。

2011年（平成23年）～2013年（平成25年）：活動の成果が認められ、町の事業として、「鏡野町地域包括ケア講座」として、予算が付き、多職種の協力が得られるようになった。

特に、個別事例に対応は、国民健康保険歯科保健センター事業で行うようになった。

2014年（平成26年）～：「鏡野町地域包括ケア講座」は、他の地域ケア会議・委員会などの医療・介護事業とともに再編され、現在は「鏡野町在宅医療・介護連携推進事業協議会」に統合されており、その中に認知症初期集中支援チームが設置された。

社会資源が多くない地域の連携：

一人の専門職が複数の仕事をこなすことになる。そのため、その専門職の中ですでに連携が確立する。一人の専門職にかかる重圧は多大であるが、人口の多い地域での連携の困難さと比較すれば、相殺されているのかもしれない。